



桃MOMO通信

平成24年 1月号



新しい年がスタートしました。今年、桃 MOMO は10周年を迎えます。

会社設立までは、フリーランスの気楽な立場でラジオ番組やイベントの制作に携わっていたのですが、20代の頃は、斬新なアイデアで次々とフロンティア的な仕事を手掛けていた(株)ETという制作会社に所属していました。刺激的な仲間たちとの出会いもあり、夢を語りながら、多彩な仕事にチャレンジしていました。そのときに知ってしまった「仲間たちと時間を共有して創り上げていく喜び」や、「頑張れば頑張った分だけ自分に返ってくる達成感」が忘れられなくて、仕事を続けています。そして、誰よりもそんな快感を与えてくれた竹崎社長の急逝が、私を会社設立へと駆り立てました。

私名義で預金してあった父の退職金の一部を資本金に、会社員時代の後輩に声をかけて2人だけでスタート。「女性が頑張るとなら、応援せなりたい」。(株)ナガノ・コミュニケーションズの永野恵美社長(2002年当時)に、事務所の一角に間借りさせていただき、机や棚、FAX、駐車場なども安価で貸していただくなど、とても応援していただきました。

「桃」という会社名は、会社員時代の先輩が付けてくれました。人智学者ルドルフ・シュタイナー「色彩の本質」によると、桃色は“愛し愛されるとき”“新しい才能を開花させる”色の象徴。そして、司馬遷の「桃李成蹊(とうりけいせい)」という諺は「桃や李の木には人が集まり自然と小道ができる。すなわち徳の高い人とは自己宣伝しなくても人が慕いよる」という意味だということを知りました。社名から目指すべき方向が見えてきました。

この10年間、与えられた仕事は拒まずチャレンジしてきて、結果、業務内容も広がり、たくさんのスタッフにも恵まれています。世の中の仕組み、価値観が変化したことで、放送業界、イベント業界も厳しい時代に突入しています。

節目の年。「桃」、そして、私自身が存在する意味と今一度向き合い、新しい10年に向けての歩みをスタートさせたいと思っています。これからも、もっと、もっと、皆さんの心を桃色にする仕事に励んでいきたいと思っていますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

(株式会社 桃 MOMO 代表取締役 浜島玲恵)

《What's new》

◇サンデーゆうステーション

1/15(日)よりエフエム小国の毎週日曜日『サンデーゆうステーション』(10:00~14:00)の番組パーソナリティを渡辺大輔が担当することになりました。渡辺のベルベットボイスと独特の雰囲気以小国の皆様に楽しんで頂ける番組をお送りしていきたいと思っています。

◇「朗読～声の贈りもの」

FMK「朗読～声の贈りもの」(毎週月～金曜日 14:45~14:55)に今春より立田絢が参加させていただくことになりました。世界で読み継がれている童話や、日本各地に伝わる昔話を今後もたくさん紹介していきます。

※1月30日から、熊本でも、IPサイマルラジオ『radiko.jp』がスタートします。

これは、パソコンやスマートフォンがそのままラジオ受信機になるというもの。

『radiko.jp』サービスは、地上派ラジオ放送をCMも含め、放送エリアに準じて、そのまま同時に配信するサイマルストリーミングサービスです。

1月30日からは、熊本でも、半年後の本配信を目指して、実用化試験配信がスタートしますので、

RKKラジオ、FMKの番組がパソコン、スマートフォンで聴くことができますようになります。

ぜひ、新しいスタイルでラジオ番組をお楽しみください。



→ HPにて【MOMOの活動情報ブログ】も随時アップ中です！

◆タレント・エッセイ◆

みなさんこんにちは。**Akari** です。

2011年、10月、私にとっての人生の岐路が訪れました。それは、MOMO に出会えた事です。小さい頃から人前に出ることが大好きで、司会のお仕事に憧れていた為、そのお仕事に携わるきっかけが生まれた2011年は、私にとって大変実りある年となりました。今まで私が自分自身を今以上にステップアップしたいと思う時や、壁にぶつかりそうな時、必ず誰かとの出会いがありました。これまでも沢山の方々に支えていただき、今の私があるんだと感じています。様々な方々の支えを自分の糧にして、「頼る」のではなく、「力を貸してもらおう」と考え、最高の司会者になる事で、皆様に恩返しをしたいと思っています。

まだまだ MOMO に入って数カ月、まだまだ勉強しなければならない事が沢山ありますが、私の長所である前向きを活かし、一步ずつ前進していこうと思います。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



◆おススメ・エンタ ◆

「今度は愛妻家」(2010) <紹介者・渡辺 大輔>

「世界の中心で、愛をさけぶ」の行定勲監督作品。

終始感動仕切りの映画化と思いきや、前半は笑いが止まりません!!

かつては売れっ子カメラマン、今ではぐうたらな夫役の豊川悦司のはっちゃけっぷり、そんな夫に振りまわされっはなしの妻を演じる薬師丸ひろ子の可愛らしさ、脇を固める俳優陣(特に石橋蓮司が最高!)も適役。

後半に明かされる、あまりに切ない真実に、ホロっとくるものがありました。

公開から2年。「絆」を考えるきっかけに、どうぞ。



日本語検定問題にチャレンジ!!

普段何気なく使っている日本語ですが、意外と間違っていることも多いようです。

お時間あるときにチャレンジしてみてください!

※【 】内に掲げた言葉を最も適切に使っているのはどれでしょうか?

◆【鳥肌】

- ①あの満塁ホームランには、感激のあまり鳥肌が立った。
- ②断崖から下をのぞき、鳥肌が立つほどぞっとした。
- ③連日も猛暑で、手足に鳥肌が出てきた。

◆【掉物】

- ①甘い物が好きな彼への手土産には掉物がよいだろう。
- ②武家の娘は、長刀・槍などの掉物の稽古をしたそうだ。
- ③琴・三味線などの和楽器は掉物と呼ばれた。

弊社では、司会者・タレントの育成・派遣、各種イベント、セミナーの企画・運営、
各種メディアの企画・制作、人材派遣事業を行っております。

お気軽にお問合せください。(<http://www.momo-j.net>)

株式会社  桃momo

〒860-0001 熊本市千葉城町5-50 熊本メディアビル4F
TEL 096-319-8011 FAX 096-319-8012
一般労働派遣事業 般43-300030
有料職業紹介事業 43-ユ-300093

答え

【鳥肌】 → ②

【掉物】 → ①